飛騨地区　家庭教育学級応援通信



飛騨っ子

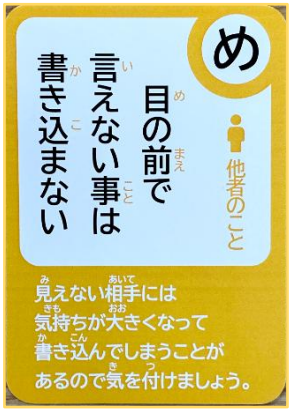
令和８年１０月２６日発行　　NO７
飛騨県事務所　振興防災課　振興防災係
家庭教育推進専門職　：　水　口　悟
TEL：0577－33－1111（内線 235）
E-mail：mizuguchi-satoru@pref.gifu.lg.jp

親 子 学 習 の 大 切 さ



＜ 通信【飛騨っ子】 ＞

□　高山市立山王小学校　　親子で楽しく真剣に情報モラルを学ぼう　　学校行事参加型
〇期日 令和８年９月25日（金） 5時間目　〇場所 体育館　〇対象 6年生の親子



情報モラルかるたとは　…

本教材は，小学校低学年から情報モラルについて遊びながら学べる教材として開発されました。今年度，県より県内すべての小学校へ配布されました。本教材は，「岐阜県立岐南工業高等学校」と「岐阜市立女子短期大学」の生徒と学生による共同制作教材です。

ネット安全・安心ぎふコンソーシアム HP より
＊各資料がダウンロードできます。（二次元コード：ワンタップ）



＜ 情報モラルかるたを楽しむ親子 ＞



＜ 情報モラルについて学ぶ親子 ＞

Ⅰ　前半【体験（約 20 分）：親子で情報かるたを楽しむ】

体育館では，６年生の親子が 14 グループに分かれ，かるたを始めました。ルールは簡単・・・子（親）が札を取ったら親（子）と交代し親子が取った札の合計枚数で競い合います。同時にかるたを押さえた場合はジャンケンで。

６年生の親子が，広い体育館に集まり膝を突き合わせている姿が印象的でした。繰り返される読み札（例：左上）の言葉から，親子が情報モラルについて学ぶ姿が見られました。

Ⅱ　後半【視聴（約 20 分）：テーマ：自分の未来を守るために　講師：岐阜県警察本部職員】

講師の方は「使い方次第で，便利にも危険にもなります！」とお話され，次の4点について説明がありました。① メッセージアプリ内の仲間外れについて ② 悪ふざけの動画・画像の投稿について ③ SNS で知り合った者からの性被害 ④ 不正アクセスについて　① については，「文字のやりとりによる誤解から生じるインターネット上の喧嘩」について具体例を紹介され，日常的な危険が，子どもたちの身近なところに潜んでいることを話されました。また，親子で話し合ってルールを決めることや定期的にルールを見直すことの大切さを話されました。

今年度，県より配布された情報モラルかるたと講師による講話を上手く組み合わせた取組が効果的でした。テーマにある「親子で『楽しく』『真剣』に情報モラルを学ぶ」ための環境を上手くつくり出していました。

□　飛騨市立山之村小中学校 PTA 親子行事　　目指せ！ どの家庭よりも美味しいピッツァ

〇期日 令和８年9月 12 日（土）〇場所 山之村小中学校 〇主催 山之村小中学校 PTA



<ねらい>

PTA スローガンにある【重点① 親子で深めよう『家族の絆』】の具現に向け，いつもとは違う親子の関わり方を通して，家族の絆を深める。

<主な日程>

〇　8：30～　ピザ窯の準備・生地づくり
〇　9：00～　親子ドッジボール
〇　9：30～　親子ピッツァづくり
〇 10：00～　ピザ窯で焼く　交流　審査
〇 11：00～　片付け



生地が上手くできました！



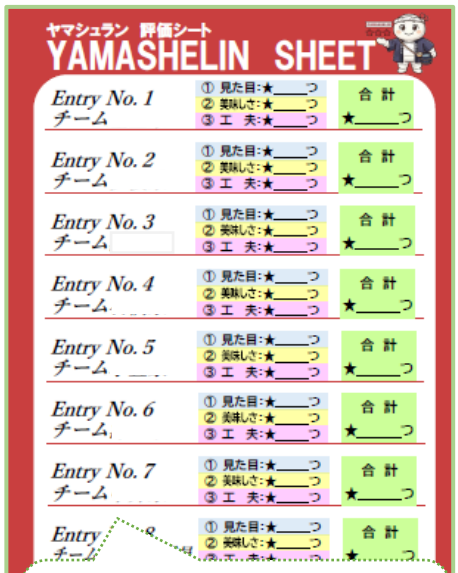
上手く焼き上がるかな～

飛騨らしいゆっくりとした時間の流れの中で，子育てや地域づくりがなされていると感じました。やはり学校（園）は，保護者コミュニティの核です。そして，地域コミュニティの核であることに間違いありません。

到着すると，既に保護者の皆さんや先生方でピザ窯や調理室等の準備が進められていました。玄関の横には，見事なピザ窯があり，山之小中学校の象徴的な存在がありました。

テーマの「家族の絆」を深めるため，この日までに親子でピッツァの具材を相談し持参するという取組も，とてもダイナミック！ 各家庭のアイディアを凝らした具材が親子行事を盛り上げていました。

校長先生から「せっかく来ていただいたので，審査員をお願いします！」と声をかけていただき，私たちも重要な役割を担うこととなりました。手渡された YAMASHELIN SHEET（左表）には，各家庭と職員チームの名前と審査のポイントが示されていました。



<審査のポイント　審査員４名>

①見た目　②美味しさ　③工夫

＊各３点満点






ピザ窯の存在は知っていましたが，まさか生地も手作りとは…　本格的すぎて，本当に学校・親子行事かと驚きました。親子でピザをつくるにあたり、その日だけでなく「どんな具材を使うのか」とか「どんな形にしたいか」など、家庭でいろんな会話があったと思います。１つの物事に親子・家族で向かっていくことはなかなか無いことなので、準備から当日までがまさに「家庭教育」だなと感じました。いただいたピザは、どれも本当においしかったです！（生涯学習課 担当）

審査の結果は，１点差の勝負となりました。ピザづくりを楽しく競い合える保護者と職員のつながりは，すばらしい！ また，この取組は PTA スローガンの重点①「家族の絆」に留まらず，②「地域への絆」③「未来への絆」へと広がっていることがすばらしい。

飛騨市学園構想
2　⑤⑥⑦
（ワンタップ Link）

□ 高山市立北稜中学校　PTA 親子講演会 ＋ 地域公開授業　　講演会型

〇期日 令和８年９月 24 日（木） 〇主催 PTA 学級委員会 〇対象 全校生徒保護者・本郷小学校児童・地域の方々 〇演題『My Passion Project』 ～ 私とスキーと家族と ～ 〇講師 堀島行真 氏

PTA スローガン　「挑戦」を支え，「自分らしさ」を育てよう

世界の大舞台で活躍する堀島選手の生き方（スキーとの出会いや家族との関係，スランプの乗り越え方など）をお話していただきます。講演会を通して，挑戦することの大切さや自分らしく生きることについて親子で考えたり，話したりするきっかけとなることを願っています。



＜　生徒による作品　＞



＜　堀島行真氏による講話　＞

堀島選手は真っすぐに会場を見つめ，静かに自分のやってきたこと・考えていること・大切にしてきたことを伝え始めました。会場に集まった児童・生徒・保護者・地域の方々は，その一言一言に耳を傾けていました。

たくさんお話しされた中から，その一部を紹介いたします。



〇 独りだけで強くなれる人なんていません。吹雪の中，遠い山まで何時間も運転し送り届けてくれた両親，間違ったときには本気で叱ってくれた家族など，周りの方々の支えに対して感謝できる姿は美しいと思います。

〇 本番では，練習で「やれたこと」しかできません。大舞台では奇跡は起きません。出せるものは普段やってきたことだけ。曖昧な「頑張る」をやめて「準備する」という言葉に変え取り組んできました。

〇 数字で自分の行動を表すようにしました。練習を「数字で数える」ことにしました。「今日は上手く滑れた気がする」という感覚だけの評価はやめ，100 本飛んで何本成功したか，着地の成功率は何パーセントかをノートに記録するようにしました。 努力（取組）の数値化 … 情報の整理と焦点化に努めてきました。

〇 中学校の３年間は，たったの「1000 日」。大人になって痛感するのは，中学生という時間の圧倒的な濃さです。誰かに流されて過ごす毎日はあっという間に消えてしまいます。「今日の 24 時間を何に使うのか」を自分で決めて，本気で没頭してほしいと思います。

親子講演会を通して，心に深く刻まれたメッセージは今後の生き方（挑戦・自分らしさ）を磨く親子の宝物となりました。

今回の講演会は，岐阜フリースタイル（岐阜県唯一のフリースタイルスキークラブ）との情報共有から，タイミング良く実現可能となりました。

学ぶ PTA 事業を活用
（高山市生涯学習課）
（ワンタップ Link）

□　飛騨市子育て応援課 × 岐阜県立吉城高等学校（1年生 生徒93名）
〇期日 令和８年 10 月２日（金）〇科目・単元名 家庭科基礎 人の家族・家庭及び福祉





＜ 乳児を抱っこする女子生徒 ＞


＜ 乳児を抱っこする男子生徒 ＞



＜ 父親と交流する男子生徒 ＞


＜ 乳幼児から目が離せない生徒たち ＞

吉城高校では，昨年度から子育て応援課と連携し家庭科の授業「人の家族・家庭及び福祉」を進めています。代表の生徒が冒頭の挨拶で「『乳幼児はどのように成長していくのか』『地域社会は，乳幼児や保護者にどのように関わるとよいのか』について学習しに来ました」と，本日の目的を発言されました。

挨拶が終わると，生徒たちはいくつかのグループに分れ，参加された親子のもとに集まり体験学習を始めました。

グループに分れた生徒たちは，乳幼児に釘付けです。滑り台で遊ぶ子，トランポリンで跳ぶ子，おもちゃをつかむ子，絵本を開く子 ・・・その１つ１つの表情と行動に目が離せません。そして，お父さんやお母さんから決して楽しいことばかりではない子育てのエピソードに耳を傾け，その言葉を書き留めていきます。

あるグループでは，生後2カ月になったばかりの乳児を抱っこさせてもらい，「めっちゃ，やわらかい～」「めっちゃ，あったかい～」の連発です。不安そうにしていた男子生徒も，少しずつ慣れてくると「ずっと抱いていられる！」とにこにこしながら，自分の腕の中で寝ている乳児を見つめていました。

この日は，偶然にも吉城高校を卒業されたご夫婦が参加されていて，先輩・後輩の関係の中で子育てについて交流するつながりも見られました。

地元の高校生が地域の保護者から子育ての実際を学ぶ機会があることがすばらしいです。教科を通して学ぶことは，同学年の仲間が同じ体験を通して学び合う教科の良さがあります。

この学習は学級ごとに10月末（全4回）まで開催され，学び得た内容を学校に戻りまとめ深められます。



私が高校生の時には，こんな体験はありませんでした。こんなすてきな体験をしていたら，もっと良い親になっていたかも知れません　笑。この学習は，高校生が将来親になることを想像できる良い機会になっています。また，保護者にとっては，自分の子育てエピソードを高校生に伝えることで，子育てを振り返る良い機会になっています。

（子育て応援課 担当）

飛騨市学園構想
2　⑤⑥⑦
（ワンタップ Link）